

2024年度第2四半期(中間期)決算の概要及び 2024年度業績予想の概要

三井化学株式会社

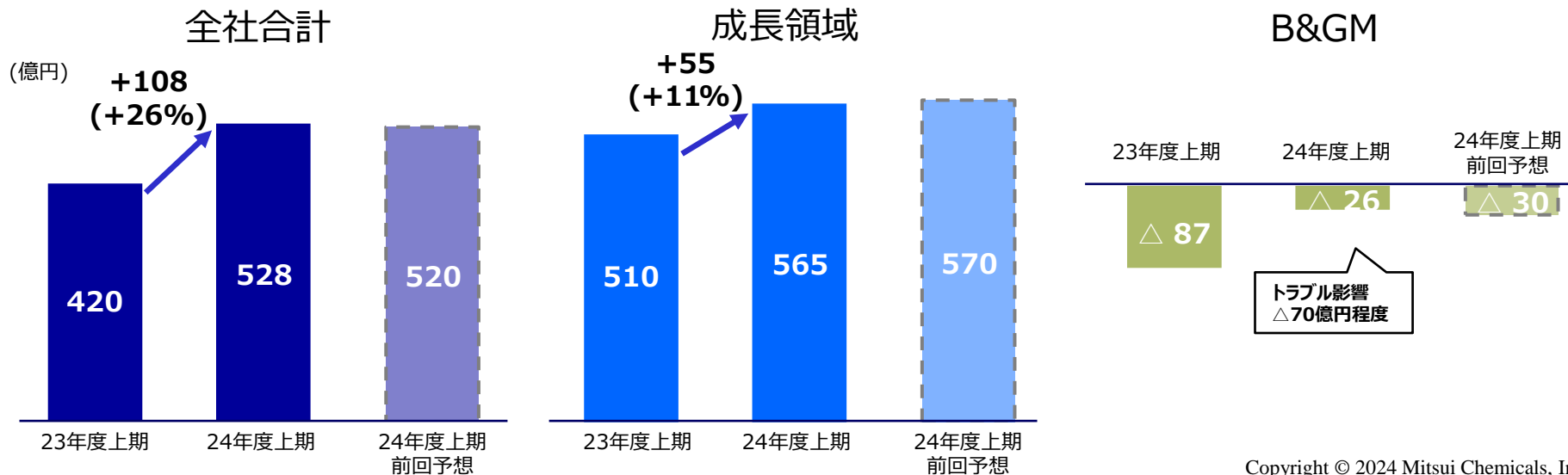
本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2024年11月7日

上期決算発表のポイント

- 全社のコア営業利益は、前年比で108億円（+26%）増益し、前回予想値を上回る利益を確保。
 - 成長領域の販売数量は全般的に堅調に推移、また交易条件は為替を中心に改善し、コア営業利益は55億円（+11%）の増益。
 - B&GMは、エチレンプラントトラブル影響（△70億円程度）はあるも、値上げ及び在庫評価益に加え、事業構造改善の効果により改善。

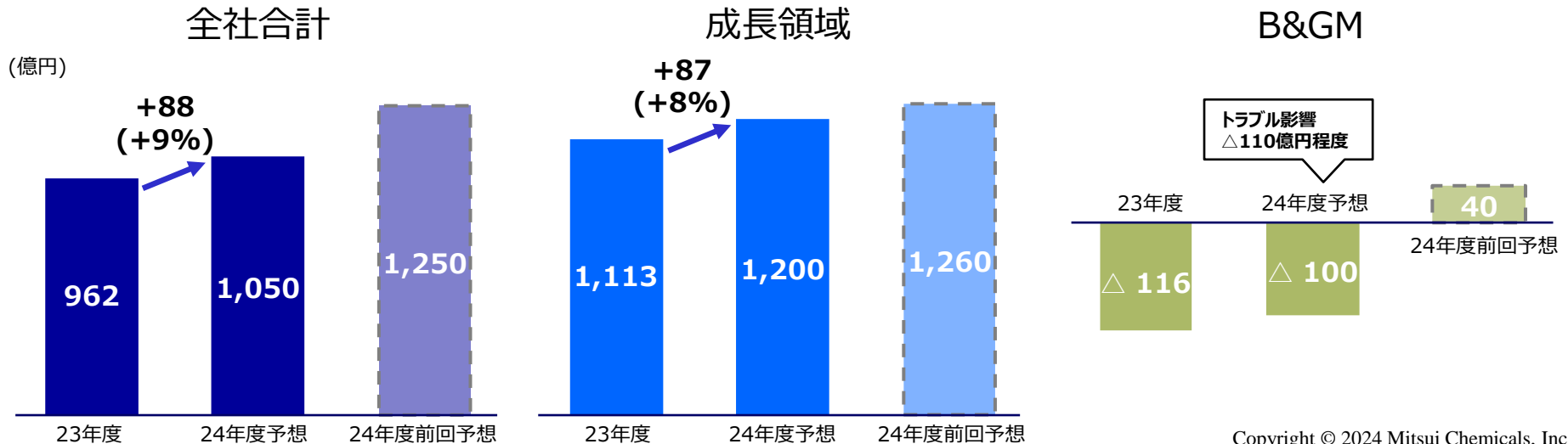
■ コア営業利益（全社・領域別）



業績予想のポイント

- 全社のコア営業利益は、主にエチレンプラントトラブルの影響（△110億円程度）等により、前回予想の1,250億円から1,050億円に見直すが、前年比では、88億円（+9%）の増益を見込む。
 - 成長領域は、主に販売数量の増加により、前年比87億円（+8%）増益の1,200億円を見込む。
 - B&GMは、トラブル影響はあるも、値上げの浸透や事業構造改善に取り組み、前年からの改善を見込む。
- 配当予想については、中間75円/株、年間150円/株の変更はなし（対前年10円/株増配）。

■ コア営業利益（全社・領域別）



目次

1. 2024年度第2四半期(中間期)決算の概要	
1) 主要関連市場動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 第2四半期(中間期)決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年同期)	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2024年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-14
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年同期)	…15
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)	…16-19
4) セグメント別 コア営業利益増減 (上期→下期)	…20
5) キャッシュ・フロー計算書の予想	…21
3. 補助資料	…22-27

1. 2024年度第2四半期(中間期)決算の概要

24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

1) 主要関連市場動向

関連市場		24年度			24年度予想 (対5/15予想)	
		上期	下期	上期→ 下期		
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	堅調に推移	堅調に推移	➡	変化なし	➡
	農薬市場	一部在庫調整はあるも 堅調に推移	一部在庫調整は継続するも 堅調に推移	➡	変化なし	➡
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界) *			➡		➡
	日本	前年同期比で グローバルな生産台数は 中国を除き、各地域で減少	前年同期比で 中国、北米を中心に 生産台数は堅調に推移	➡	地域ごとの増減はあるも、 グローバルな生産台数に 大きな変化なし	➡
	北米			➡		➡
	中国			➡		➡
	ASEAN			➡		➡
欧州	➡			➡		
ICT ソリューション	半導体市場	需要は緩やかな回復傾向	需要は緩やかな回復傾向	➡	変化なし	➡
	スマートフォン市場	需要は緩やかな回復傾向	需要は緩やかな回復傾向	➡	変化なし	➡
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	クラッカー稼働率	低稼働	低稼働	➡	低稼働継続	➡

* 外部機関参考による当社推定値

2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY22	FY23	FY24	FY25以降
ライフ & ハルスケアソリューション	メガネレンズ加工機メーカー買収	22年11月	-		→		
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-		→		
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	24年1月	-		→		
モビリティソリューション	タフマー®新設@Singapore	24年度	120KT				→
ICTソリューション	アベル®新プラント@Japan	22年6月	+50%	→			
	ペリクル事業買収	23年7月	-		→		
	イクロステープ™能力増強@Taiwan	24年6月	380万㎡			→	
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-		→		
	ポリウレタンディスパージョン(PUD)能力増強@Japan	25年6月	+100%				→
	特殊イソシアネートXDI能力増強@Japan	25年9月	+20%				→
	次世代EUV露光用CNTペリクル生産設備@Japan	25年12月	5千枚				→
	半導体実装領域における材料開発強化に向けた出資	24年度	-				→
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年9月	200KT			→	
	高機能PP新設備@Japan	24年度	200KT			→	
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-	→			
	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-		→		
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-	→			

最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT	生産停止	→		
	ポリエチレンテレフタレート(PET)の生産停止@Japan	24年10月	145KT		生産停止	→	
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT			生産能力最適化	→
	市原フェノールの生産停止@Japan	26年度	190KT				生産停止
	千葉地区LLPエチレン装置集約による生産最適化の検討開始	27年度	-			検討開始	生産最適化
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-	株式譲渡	→		
	モビリティセグメント子会社株式譲渡@Japan(産業資材)	25年4月	-				株式譲渡

3-1) 第2四半期(中間期)決算の概要

(単位：億円)

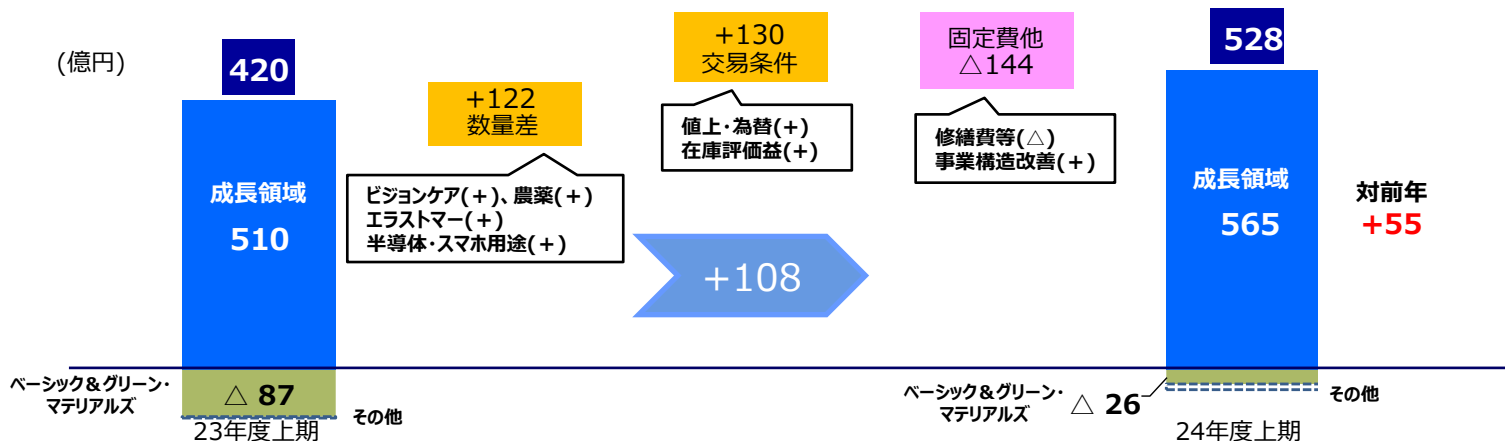
摘 要	23年度 上期決算	24年度 上期決算	増減	増減率
売上収益	8,237	8,904	667	8%
コア営業利益	420	528	108	26%
(うち、持分法による投資損益)	60	75	15	-
非経常項目	△ 108	△ 68	40	-
営業利益	312	460	148	47%
金融収益・費用	18	△ 52	△ 70	-
税引前中間利益	330	408	78	24%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	207	222	15	8%

為替レート(円/US\$) 141 153 + 12

国産ナフサ(円/KL) 65,550 77,950 + 12,400

3-2) 第2四半期(中間期)決算の概要 : コア営業利益 (対前年同期)

項目	内容	損益増減
数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消により販売数量は増加。 ・農薬は海外での販売数量が増加。 ・自動車用途を中心にエラストマーの販売数量は増加。 ・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復により販売数量は増加。 	(+) (+) (+) (+)
交易条件	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げ及び為替影響により交易条件は改善。 ・原料価格上昇に伴う在庫評価益。 	(+) (+)
固定費他	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費・資材費高騰による修繕費、研究開発等の資源投入によりコストは増加。 ・事業構造改善による収益改善。 	(△) (+)

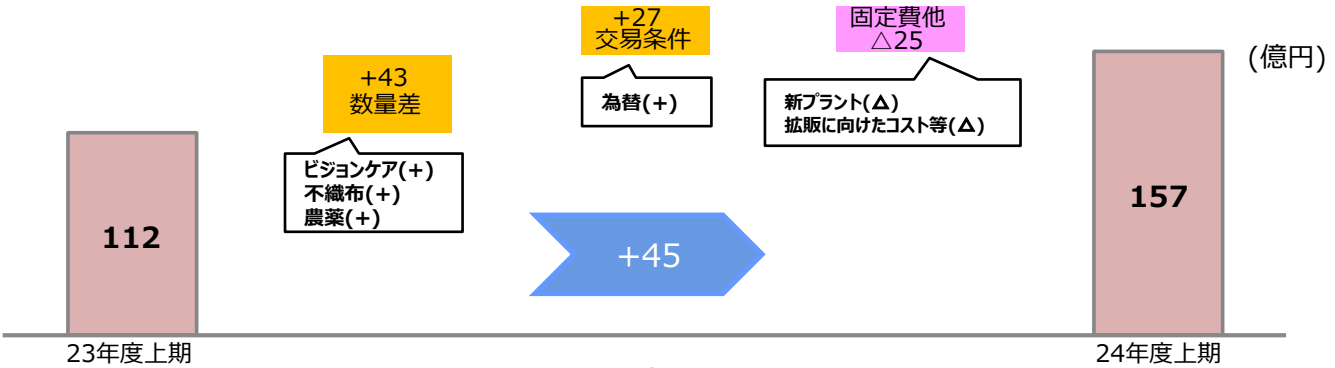


4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年同期)

(単位：億円)

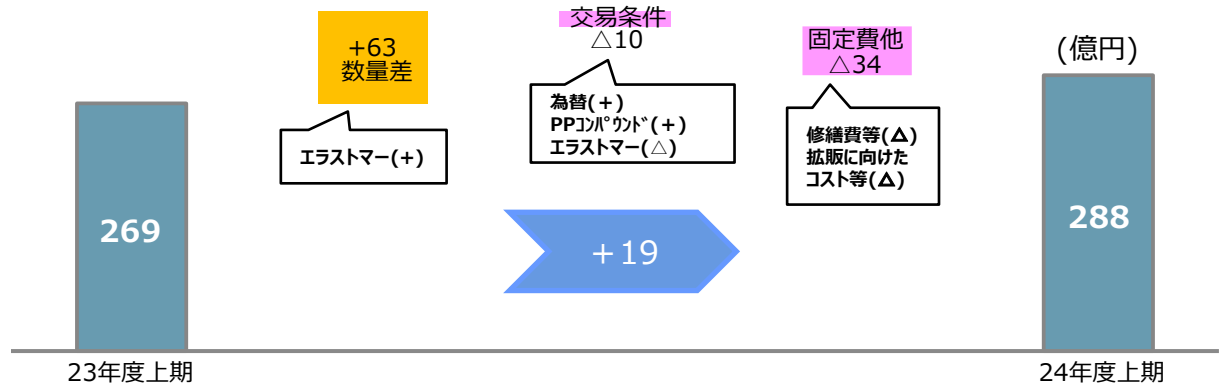
セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度 上期決算	24年度 上期決算	増減	23年度 上期決算	24年度 上期決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	1,191	1,381	190	112	157	45	43	27	△ 25
モビリティソリューション	2,613	2,842	229	269	288	19	63	△ 10	△ 34
ICTソリューション	1,249	1,098	△ 151	129	120	△ 9	25	12	△ 46
成長領域	5,053	5,321	268	510	565	55	131	29	△ 105
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	3,106	3,510	404	△ 87	△ 26	61	△ 9	101	△ 31
その他	78	73	△ 5	△ 3	△ 11	△ 8	-	-	△ 8
合計	8,237	8,904	667	420	528	108	122	130	△ 144

	24年度上期決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> ・23年度に在庫調整影響の解消による販売数量増加 ・新プラント稼働による固定費増加(MR™) 	数量(+) 固定費(Δ)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> ・事業統合による販売数量増加 	数量(+) 固定費(Δ)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は前年並みに推移 	-
農薬	<ul style="list-style-type: none"> ・一部地域で在庫調整の動きが残るものの、販売は堅調に推移 ・円安による為替差益増加 ・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費が増加 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)



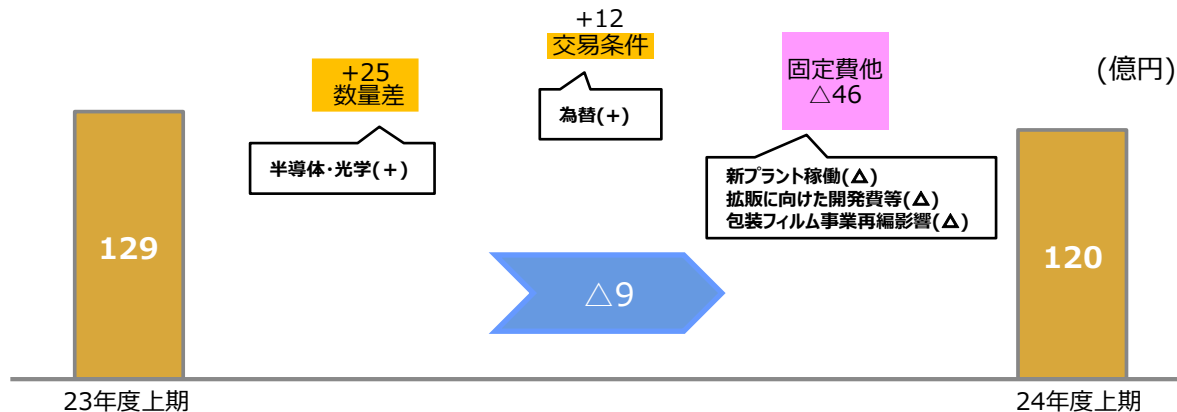
5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度上期決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途を中心に販売数量増加 円安による為替差益増加 一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化 	数量(+) 為替(+) 交易条件(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途関連の販売は前年並みに推移 円安による為替差益増加 価格改定による交易条件改善 	為替(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 販売は前年度並みに推移 	-



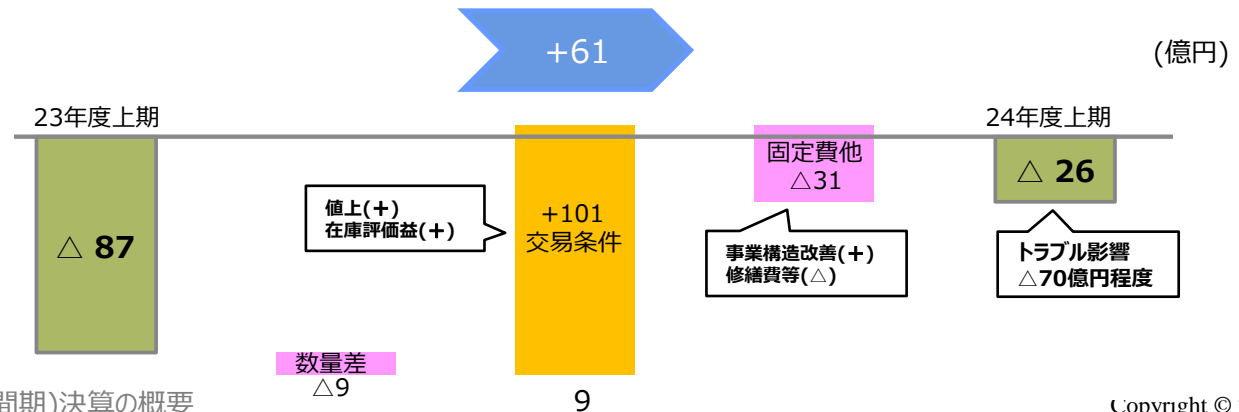
5-3) ICTソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度上期決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> 半導体及びスマートフォン市場の回復による販売数量増加 円安による為替差益増加 拡販に向けたコスト等が増加 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> 販売は前年並みに推移 円安による為替差益増加 	為替(+)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 販売は前年並みに推移 円安による為替差益増加 新プラント稼働により固定費増加(イクロステープ™) 	為替(+) 固定費(Δ)



5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度上期決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げによる交易条件改善 ・原料価格上昇に伴う在庫評価益 ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 	交易条件(+) 在庫(+) 固定費(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げによる交易条件改善 ・原料価格上昇に伴う在庫評価益 ・事業構造改善による収益改善 ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 	交易条件(+) 在庫(+) 構造改善(+) 固定費(Δ)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 	固定費(Δ)



6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	23年度 上期決算	24年度 上期決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 6	△ 12	△ 6
減 損 損 失	△ 124	△ 56	68
そ の 他	22	0	△ 22
非経常項目 合計	△ 108	△ 68	40

7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘要	24年3月末	24年9月末	増減	摘要	24年3月末	24年9月末	増減
流動資産	(11,506)	(10,129)	(△ 1,377)	負債	(12,310)	(11,247)	(△ 1,063)
現金及び 現金同等物	2,103	1,710	△ 393	営業債務	1,799	1,579	△ 220
営業債権	3,659	3,187	△ 472	有利子負債	8,115	7,321	△ 794
棚卸資産	4,511	4,531	20	その他	2,396	2,347	△ 49
その他	1,233	701	△ 532				
非流動資産	(10,652)	(10,904)	(252)	資本	(9,848)	(9,786)	(△ 62)
有形固定資産及び 使用権資産	6,521	6,573	52	親会社の所有者に 帰属する持分	8,629	8,617	△ 12
のれん及び 無形資産	764	810	46	非支配持分	1,219	1,169	△ 50
非流動の その他の資産	3,367	3,521	154				
合計	22,158	21,033	△ 1,125	合計	22,158	21,033	△ 1,125

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	23年度 上期決算	24年度 上期決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	858	1,180	322
(うち運転資金)	127	248	121
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 355	△ 483	△ 128
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	503	697	194
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 452	△ 1,045	△ 593
IV. その他	112	△ 45	△ 157
現金及び現金同等物増減	163	△ 393	△ 556

2. 2024年度業績予想の概要

24年度より、本州化学工業(株)他、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社の帰属セグメントを見直しております。23年度のセグメントも、変更後の報告セグメント区分に基づき作成しております。

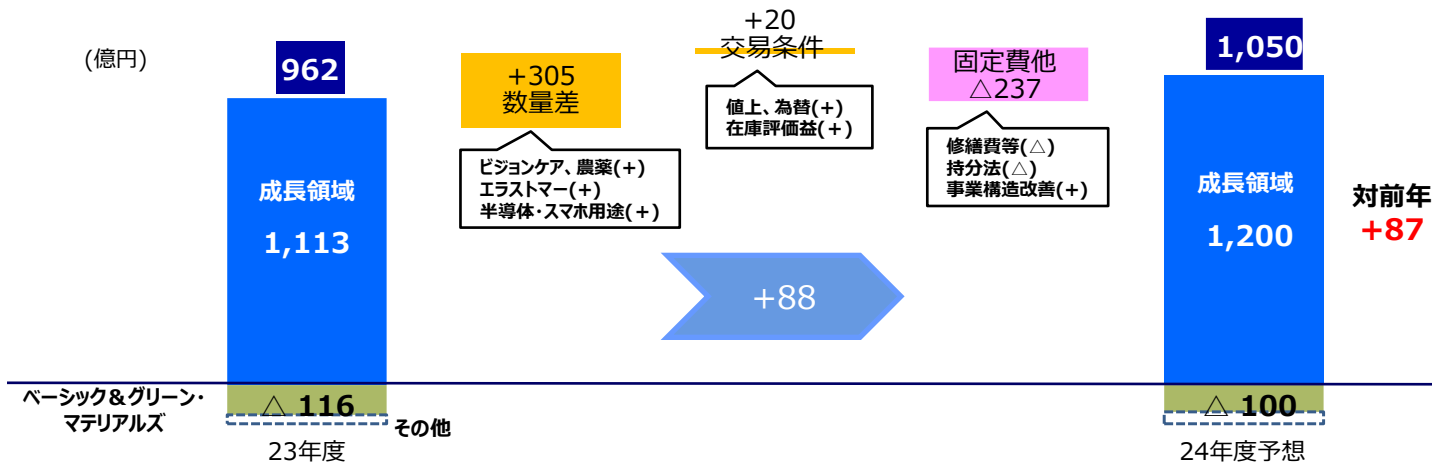
1 - 1) 業績予想の概要 (対前年同期)

(単位：億円)

摘 要	23年度決算		24年度予想		増減	
	上期	年度(a)	上期	年度(b)	年度 (b)-(a)	%
売上収益	8,237	17,497	8,904	17,700	203	1%
コア営業利益	420	962	528	1,050	88	9%
非経常項目	△ 108	△ 221	△ 68	△ 110	111	-
営業利益	312	741	460	940	199	27%
金融収益・費用	18	△ 8	△ 52	△ 80	△ 72	-
税引前利益	330	733	408	860	127	17%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	207	500	222	560	60	12%
為替レート(円/US\$)	141	145	153	149	+ 4	
国産ナフサ(円/KL)	65,550	69,100	77,950	75,500	+ 6,400	
	中間	通期	中間	通期	増減	
配当	70 円/株	140 円/株	75 円/株	150 円/株	+10円/株	

1 - 2) 業績予想の概要：コア営業利益（対前年同期）

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは23年度在庫調整影響の解消による販売数量増加を見込む。	(+)
	・農薬は海外での販売数量増加を見込む。	(+)
	・自動車用途を中心にエラストマーの販売数量増加を見込む。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の回復により販売数量増加見込む。	(+)
交易条件	・値上げ及び為替差による交易条件の改善を見込む。	(+)
	・一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化を見込む。	(△)
	・原料価格上昇に伴う在庫評価益を見込む。	(+)
固定費他	・人件費・資材費高騰による修繕費、研究開発等の資源投入でコスト増加を見込む。	(△)
	・事業構造改善による収益改善を見込む。	(+)

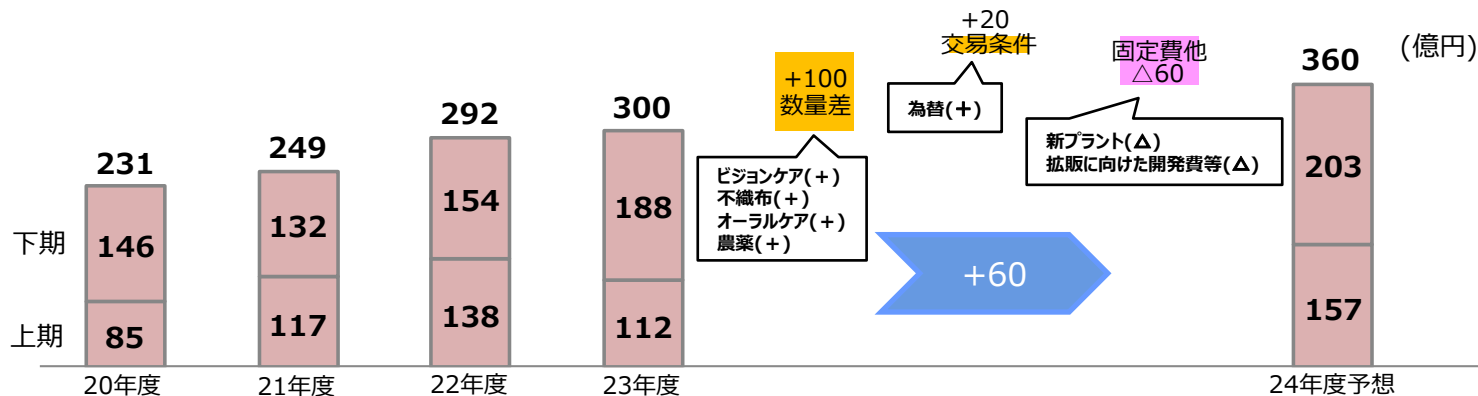


2) セグメント別 売上収益/コア営業利益予想 (対前年同期)

(単位：億円)

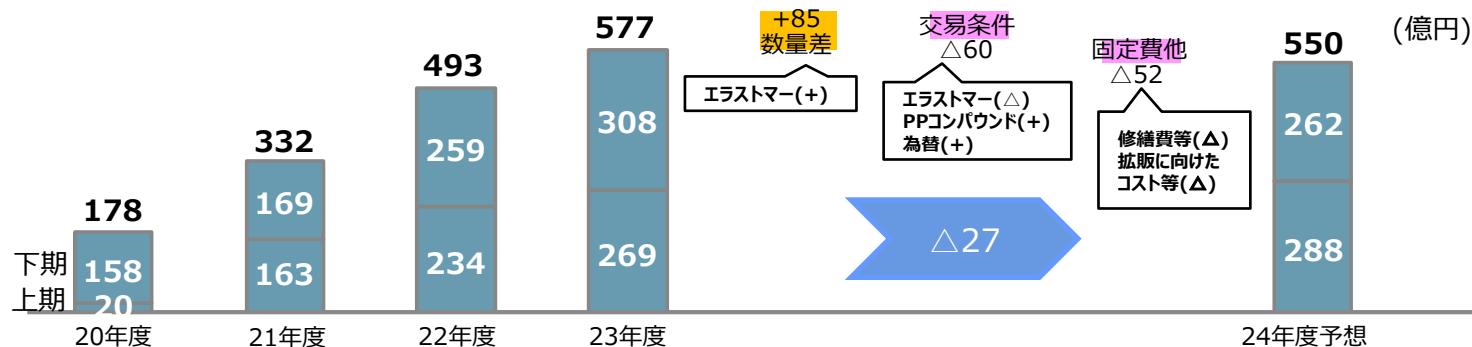
セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	23年度決算	24年度予想	増減	23年度決算	24年度予想	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	2,717	2,980	263	300	360	60	100	20	△ 60
モビリティソリューション	5,440	5,740	300	577	550	△ 27	85	△ 60	△ 52
ICソリューション	2,594	2,290	△ 304	236	290	54	105	10	△ 61
成長領域	10,751	11,010	259	1,113	1,200	87	290	△ 30	△ 173
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	6,599	6,550	△ 49	△ 116	△ 100	16	15	50	△ 49
その他	147	140	△ 7	△ 35	△ 50	△ 15	-	-	△ 15
合計	17,497	17,700	203	962	1,050	88	305	20	△ 237

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> ・23年度在庫調整の解消による販売数量増加 ・新プラント稼働による固定費増加(MR™) 	数量(+) 固定費(Δ)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> ・事業統合による販売数量増加 	数量(+) 固定費(Δ)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・拡販による販売数量増加 	数量(+) 固定費(Δ)
農薬	<ul style="list-style-type: none"> ・一部地域で在庫調整の動きが残るものの、販売は堅調に推移 ・円安による為替差益増加 ・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費増加 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)

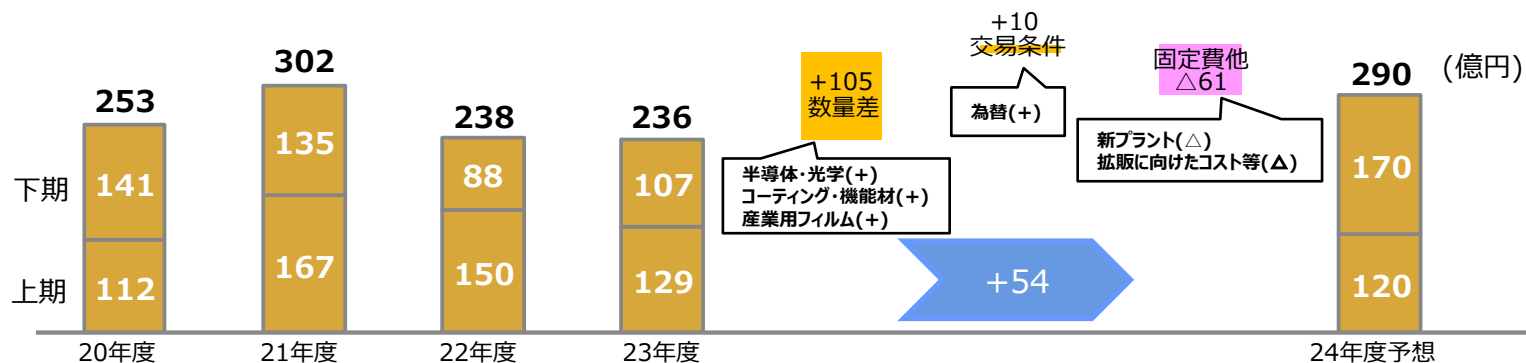


3-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途を中心に販売数量増加 円安による為替差益増加 一時的な需給緩和に伴う交易条件悪化 	数量(+) 為替(+) 交易条件(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途関連の販売は前年並みに推移 円安による為替差益増加 価格改定による交易条件改善 	為替(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車市場回復に伴う受注増 拡販に向けたコスト等の増加 	数量(+) 固定費(Δ)

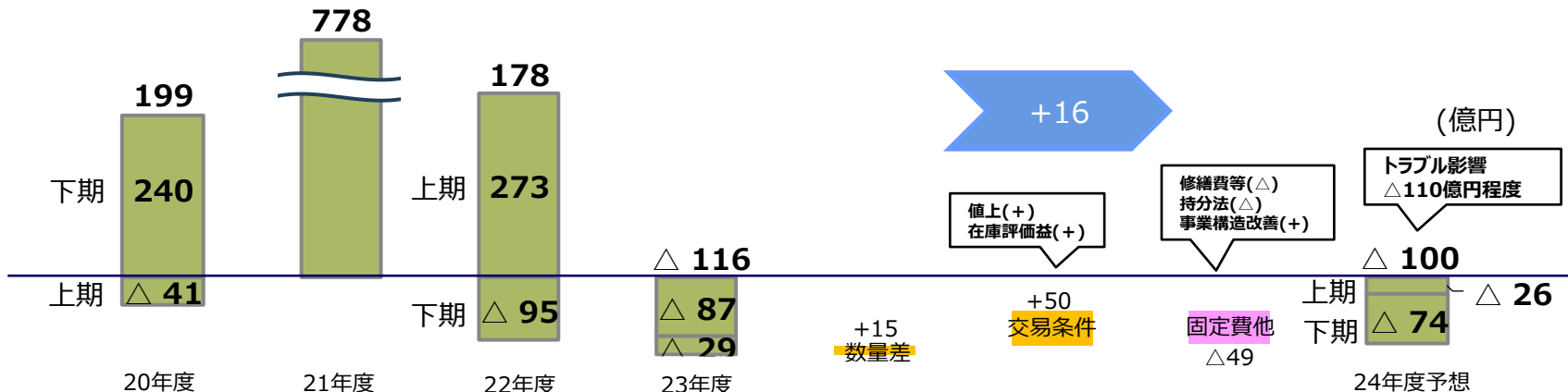


	24年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> 半導体及びスマートフォン市場の回復による販売数量増加 円安による為替差益増加 拡販に向けたコスト等が増加 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> 販売は堅調に推移 円安による為替差益増加 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 半導体市場需要回復による販売数量増加 円安による為替差益増加 新プラント稼働により固定費増加(イクロステープ™) 	数量(+) 為替(+) 固定費(Δ)



3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	24年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げによる交易条件改善 ・原料価格上昇に伴う在庫評価益 ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 	交易条件(+) 在庫(+) 固定費(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げによる交易条件改善 ・原料価格上昇に伴う在庫評価益 ・事業構造改善による収益改善 ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 ・持分法投資損益の減少 	交易条件(+) 在庫(+) 構造改善(+) 固定費(Δ) 持分法(Δ)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費・資材費高騰による修繕費等のコスト上昇 	固定費(Δ)



4) セグメント別 コア営業利益増減 (上期→下期)

(単位：億円)

セグメント	24年度 コア営業利益			主要増減要因
	上期決算	下期予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	157	203	46	数量(+): 農薬季節差等
モビリティソリューション	288	262	△ 26	交易条件(△): PPコンパウンド等
ICソリューション	120	170	50	数量(+): 半導体関連
成長領域	565	635	70	
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	△ 26	△ 74	△ 48	交易条件(△): 値上浸透(+), 在庫評価(△) 固定費(△): 賦課金(△), 持分法(△)
その他	△ 11	△ 39	△ 28	
合計	528	522	△ 6	

5) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	23年度決算		24年度予想		増減
	上期	年度(a)	上期	年度(b)	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	858	1,613	1,180	1,900	287
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 355	△ 1,239	△ 483	△ 1,750	△ 511
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	503	374	697	150	△ 224
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 452	△ 260	△ 1,045	△ 470	△ 210
IV. その他	112	126	△ 45	△ 50	△ 176
現金及び現金同等物増減	163	240	△ 393	△ 370	△ 610

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) セグメント情報
- 5) データハイライト

1) 製品価格の状況

(P E国内、 P P国内、 P H国内、 B P A国内：国内価格改定幅)

年		2021年	2022年				2023年				2024年		
月		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
国産標準 ナフサ価格	(円/KL)	60,700	64,600	86,100	81,400	72,500	66,500	67,500	63,600	72,800	72,500	79,000	76,900
P E国内	(円/KG)	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度	△5円程度
P P国内	(円/KG)	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度	+20円 程度	△3円 程度	+22円 程度	△5円程度
P H国内 (7オミユ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (* A C P)	(\$ / T)	\$970	\$1,030	\$1,230	\$1,120	\$880	\$930	\$940	\$870	\$950	\$995	\$1,085	\$1,040
B P A国内	(円/KG)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)	△17円 (3月~)	+16円 (6月~)	→	→	→	+19円 (6月~)	→
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$ / T)	\$2,480	\$2,340	\$2,060	\$1,580	\$1,450	\$1,300	\$1,250	\$1,260	\$1,280	\$1,260	\$1,310	\$1,320
P T A 中国市況	(\$ / T)	\$700	\$830	\$950	\$840	\$760	\$780	\$800	\$790	\$750	\$770	\$770	\$710
P X (* A C P)	(\$ / T)	\$890	\$1,090	\$1,260	\$1,090	\$980	\$1,030	\$1,030	\$1,070	\$1,010	\$1,030	\$1,040	\$940
T D I 中国市況	(\$ / T)	\$2,200	\$2,610	\$2,770	\$2,320	\$2,410	\$2,430	\$2,190	\$2,060	\$1,950	\$1,920	\$1,950	\$1,880

* ACP アジア圏契約価格

2) 売上収益の増減概要

(単位：億円)

セグメント	売上収益			増減内訳		主要増減要因
	23年度 上期決算	24年度 上期決算	増減	数量差	価格差	
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	1,191	1,381	190	156	34	数量) ビジョンケア及び農薬の販売は堅調 価格) 為替影響等
モビリティ ソリューション	2,613	2,842	229	139	90	数量) エラストマーの販売は堅調 価格) 為替影響等
IC ソリューション	1,249	1,098	△ 151	△ 209	58	数量) 三井化学東セロ株式分割及び一部株式譲渡の影響 価格) 為替差影響等
成長領域	5,053	5,321	268	86	182	
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	3,106	3,510	404	△ 22	426	価格) 値上げ及び原料価格上昇による価格改定
その他	78	73	△ 5	-	△ 5	
合計	8,237	8,904	667	64	603	

3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)



セグメント	売上収益						
	23年度*				24年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	下期予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	571	620	695	831	675	706	1,599
モビリティソリューション	1,274	1,339	1,371	1,456	1,439	1,403	2,898
ICTソリューション	630	619	685	660	538	560	1,192
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,566	1,540	1,726	1,767	1,808	1,702	3,040
その他	38	40	31	38	35	38	67
合計	4,079	4,158	4,508	4,752	4,495	4,409	8,796

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益						
	23年度*				24年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	下期予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	45	67	73	115	58	99	203
モビリティソリューション	123	146	141	167	157	131	262
ICTソリューション	58	71	70	37	60	60	170
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	△ 10	△ 77	30	△ 59	40	△ 66	△ 74
その他	△ 7	4	△ 10	△ 22	△ 13	2	△ 39
合計	209	211	304	238	302	226	522

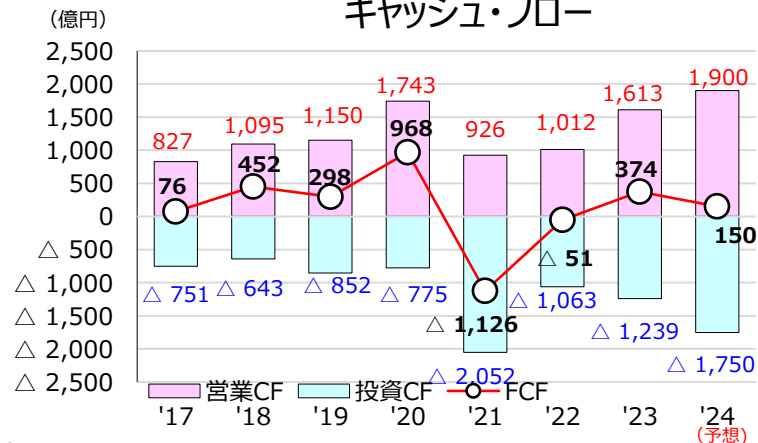
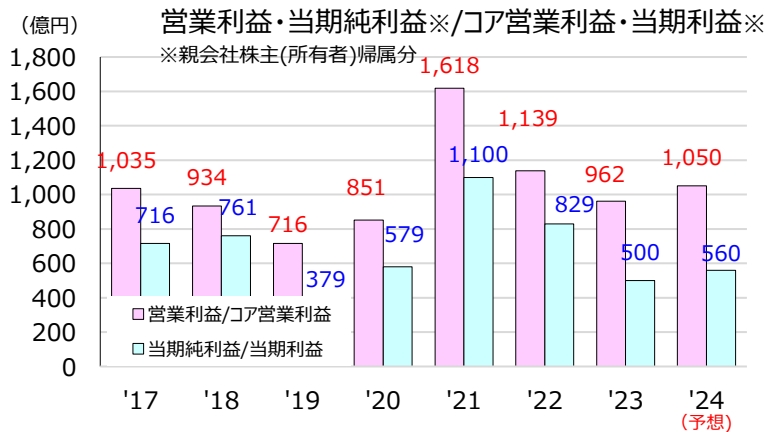
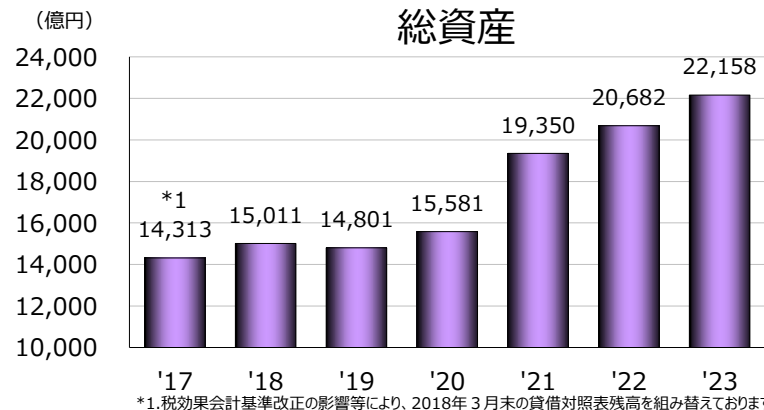
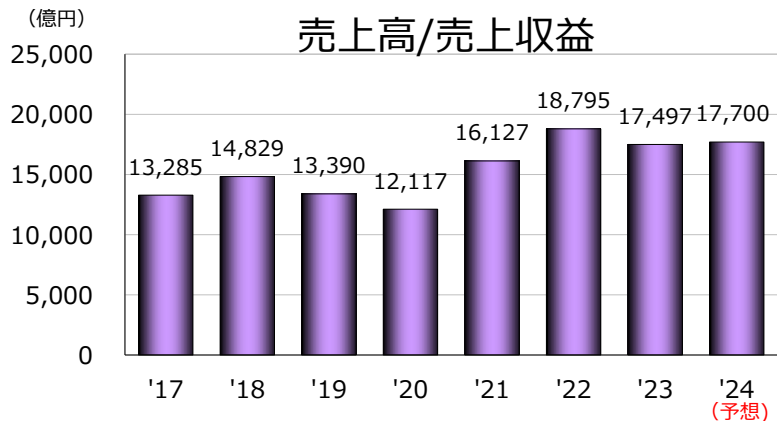
*24年度より、ICTソリューションおよびベーシック&グリーン・マテリアルズの一部の関係会社のセグメントを見直しております。
 変更後の報告セグメントで区分した四半期別の23年度の売上収益/コア営業利益となります。

4) セグメント情報

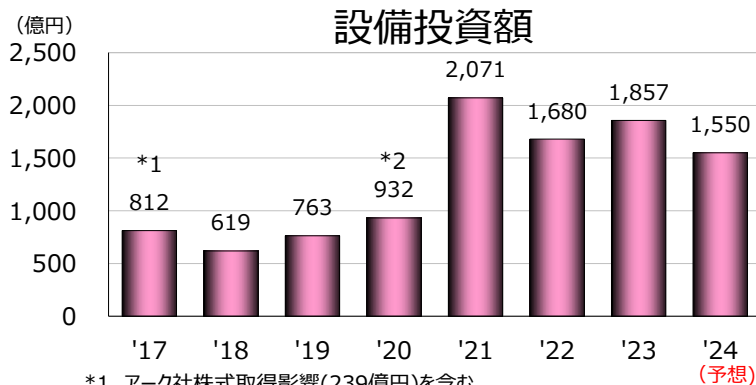
セグメント*	事業分野	主な製品等
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、 パーソナルケア、不織布、 オーラルケア、農薬、 医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 メディカル材料（タウリン）、 不織布（衛生材料、工業資材）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、 複合材料、 ソリューション事業、 モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICT ソリューション	半導体・光学、 コーティング機能材、 機能性フィルム・シート、 ICT材料事業推進室	三井ベリクル™（DUV、EUV、FPD）、アペル®、TPX®、半導体用ガス、 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ™、SP-PET™）
ベーシック&グリーン・ マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、 インダストリアルケミカルズ、 サステナブル・フィードストック、 ポリオレフィン、ライセンス、 ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

5-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

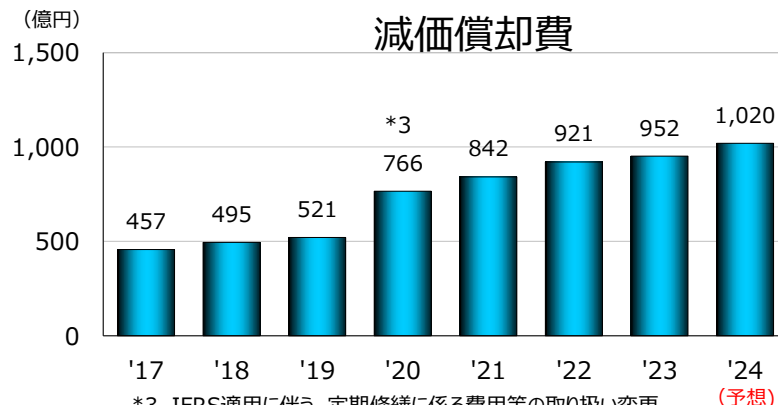


注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

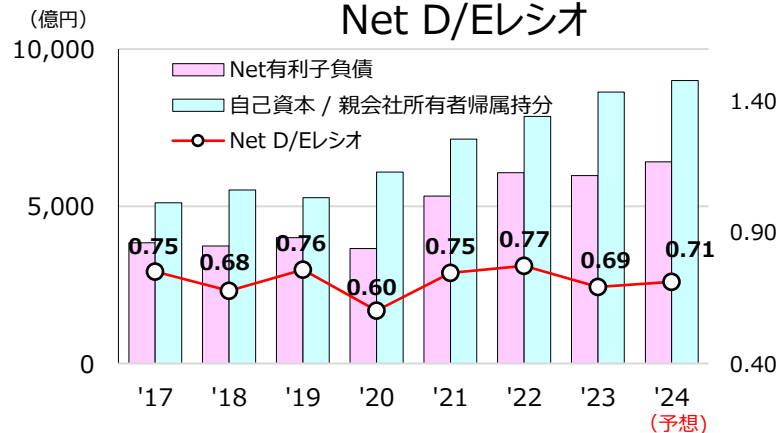
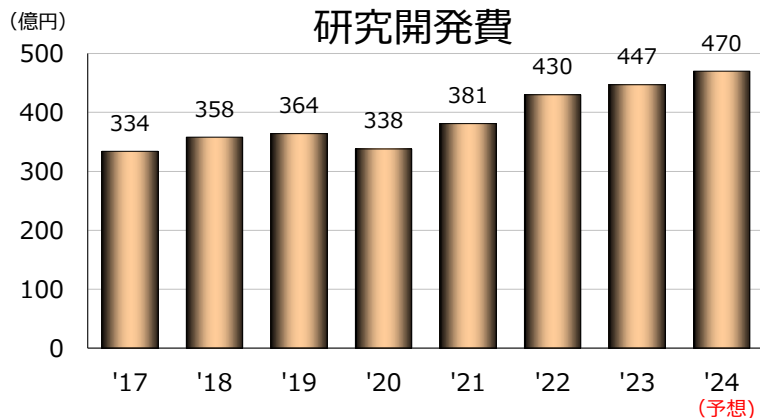


*1. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

Challenge Diversity One Team